

71 回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは6年間雲雀丘学園小学校で、色々なことを学び身につけました。そしていよいよ来月からは中学校に進学します。

私は皆さんの1年生のころからの様子をよく覚えています。毎朝、校門に立って皆さんに「おはよう」と声をかけると大きな声で「おはよう」の声を返してくれます。返すというより皆さんの方が先に挨拶をすることが多いように思いました。私は皆さんの声と笑顔にその日1日の元気とやる気をいただいたと思っています。本当にありがとう。

実は挨拶というのは周りの人を元気にするとともに自分もすがすがしい気分になれるという、魔法の力を持っています。雲雀丘学園小学校で育った皆さんは中学校に行っても、それからもずうっと誰よりも挨拶を大切にすることになってほしいと思います。「ひばりの子は立派だなあ」と思ってもらえるよう皆さん一人ひとりが頑張ってください。

さて卒業する皆さんには三つの心を持ってほしいと思います、それは「強い心」「優しい心」そして「正しい心」です。中学に進むと今まで以上に苦しいこと、悲しいこと、厳しいことに出会います。それに負けない、へこたれない気持ちが求められます。日ごろから自分のことは自分でする、約束は守る、勉強や練習に耐えるなどの行動が大切です。

しかし「強い心」だけでは十分ではありません。周りの人に「優しい気持ち」になれるかです。小さい子供やお年寄り、困っている人がいれば助けられる。植物や生き物を大切にする、きれいなものに感動する気持ちも大切だと思います。童話の主人公に「気は優しく力持ち」がありますが、そんな人になってほしいと思います。

最後は「正しい心」。これが一番難しいのです。正しいとは何か、時によって、場合に応じて、成長につれて変わるかもしれません。言葉を換えれば恥ずかしくない生き方をしなさいということです。一生を通じて求める心かもしれません。

雲雀丘を卒業される皆さんには「挨拶」と「三つの心」をもって大空高く羽ばたいてほしいと願っています。